

JR東海労ニュース

No. 727

2005年8月25日

JR東海労働組合

いま、なぜ賃金改善？賃金政策の実現なのか？

必要なのは賃金引き上げではないのか！

JR東海ユニオン本部が、「賃金政策情報」を8月1日から発行している。まだ1号しか発行してはいるが、なんの目的なのか。「賃金改善に向けて」とのこと。改善ならば結構なことである。改善とは、ベアや手当を上げることである。現行の賃金カーブの問題は、根本的にはベアを上げることなしに改善できない。こんなことは誰にでもわかる。「若年層の立ち上がりの改善」も「30才から40才付近の中だるみ感の解消」も賃金総額を増やさない限り、不可能である。ベア引き上げがないことこそ問題なのだ。

わが東海労は、55才以上の15%ダウンの廃止をずっと要求し続けてきた。65才定年制も要求している。会社は、来年4月に改正高年齢者雇用安定法が施行されることから、60才以降の雇用確保と合わせて賃金・手当を抜本的に改悪する動きにある。ユニオンの動きは、組合からの要求として会社案を出させようということか？私たち東海労は、あらためて65才定年制を協約改定交渉で主張している。同時に賃金体系の変更反対である。

始まった賃金体系改悪の動き？
ユニオンの「賃金政策情報」発行
は、会社の意図が透けて見える！